



第二回勉強会資料（1）  
決算書の見方～財務分析入門～

平成 26 年 7 月 23 日  
野崎地平税理士事務所  
野崎地平

- (1) 決算書とは？何がわかる？
  - ① 会社の成績表（通信簿）、一年の集計結果です。
  - ② 過去はもちろん、近未来もある程度読める。
  - ③ 会社（社長）の姿勢がわかる。
  
- (2) 一目で見るポイントとは？
  - ① その会社に出資するかどうかを検討するつもりで見ると。
  - ② 大きい数字（合計欄）から小さい数字（各科目）へ。
  - ③ 利益は出ているか、どうか。
  - ④ 前期と比べてどうか。
  - ⑤ 今後の数字はとなると予想されるか。
  - ⑥ 資金（お金）はどれだけあるか。
  - ⑦ 借入金が多いか、少ないか。
  - ⑧ 全部お金に換えたら、いくら残るか。（時価に換算したらどうなるか）
  
- (3) まずは別紙のケースを見てみましょう！  
条件（あくまでも架空の会社です）
  - ① 株式会社ホライゾン
  - ② 役員 3 名 社員 2 名
  - ③ 設立して 6 期経過。
  - ④ 建設業（管工事）

**基礎知識**

- ◇ 貸借対照表（B/S）は決算日の財産と負債の状況をまとめたものです。
- ◇ 損益計算書（P/L）は段階的に利益が集計されています。
- ◇ B/Sは現金に近いもの（現金化しやすいもの）から順番に並んでます。
- ◇ B/Sの右側はお金をどのようにして調達したかを表し、左側は資金の用途を表しています。
- ◇ 損益分岐点売上高＝固定費／売上総利益率
- ◇ 各種比率は別紙のとおりです。

(4) 私が注目したところは以下の点です。  
金額はどうか？ 増減はどうか？ 率はどうか？

- ① 売上
- ② 当期純利益
- ③ 売上総利益
- ④ 販売費一般管理費
- ⑤ 営業利益
- ⑥ 税引前当期利益
- ⑦ 資産の部合計
- ⑧ 負債の部合計
- ⑨ 純資産の部
- ⑩ 繰越利益剰余金
- ⑪ 現金及び預金
- ⑫ 借入金
- ⑬ 流動比率
- ⑭ 売掛金（工事未収入金）－買掛金
- ⑮ 損益分岐点売上高
- ⑯ 材料費
- ⑰ 外注加工費
- ⑱ 役員報酬
- ⑲ 給料手当
- ⑳ 交際接待費
- 21 保険料
- 22 保険積立金
- 23 その他の各科目
- 24 各種比率
- 25 当期純利益＋減価償却費－借入金元金返済額

(5) どのような会社と推測できるか？

- 順調に業績が上がり、財産も増えつつある優良企業。
- 売上総利益率も高い方で、質の高い仕事が出来ていると推測できる。
- 工事代金は前受で回収する金額が大きく、焦げ付いているものもなさそう。
- 一方、買掛金はその月の分は翌月には支払っているようで、その面での取引先からの信頼は厚そうである。
- 資金面も現預金が財産に占める割合が多くすばらしい状況。
- 借入金は少なく、業績がいいので新規融資はすぐにできそう。
- 交際費が増えている以外は目立った支出増はなく、無駄遣いはなさそう。
- 仕掛品、未成工事受入金が月平均売上に比べ少ないのは、決算時期の受注が少ないことを意味している。今後の受注見込みが気になる点ではある。
- 設備投資が少なく済んでいるのも、資金面では強み。
- 総じて、お金の入出金にきっちりしており、とても誠実でしっかりとした会社（社長）という印象を受ける。今後もどんどん伸びていけそう。楽しみ。

(6) 個人事業の場合

これまで見てきたやり方と同じですが、「事業主貸」「事業主借」という科目は個人事業のみの科目です。

事業主貸は経費ではない個人的な支出を集計したものです。

事業主借は売上ではない個人的な入金を集計したものです。家庭のお金を事業用の通帳に入れた場合も事業主借になります。

(7) この会社にはアドバイスするとしたら・・・

- ① 株価が上昇しています（設立時の4倍）。今後利益が出れば更に株価は上がりますので、株を異動する予定があれば早めの方がベターです。
- ② 事業承継をお考えですか？次の世代を育てていくのに早すぎることはないですよ。
- ③ お金は着実に増えつつありますが、どのように使うのかも大切です。今後の計画はどのようになっていますか。
- ④ 保険を有効活用できていますか。保険はリスクをカバーすることもできますし、将来の資産形成にも使うことができますよ。

- ⑤ 未成工事受入金が多いですね。世の中の流れからすると前受金は減らしていく方向にあります。前受金が少なくなっても問題ないようにするために、更なる資金充実を図りましょう。
- ⑥ 社員教育、役員スキルアップのための教育に力を注いでいますか。
- ⑦ 経営理念はありますか？なければぜひ作りましょう。今後の会社の永続発展のために必要だと思います。
- ⑧ 金額にもよりますが、損益面、資金面ともに充実しているので融資は受けられると思います。設備投資の予定があれば、金融機関に相談されてはどうですか？金利も今は低いですよ。
- ⑨ 設備投資に関しては、一定の要件を満たせば、購入金額の全額を取得時に経費にできる制度が今はありますよ。
- ⑩ 外注費率を下げることができしており、利益がより出やすくなってきています。いい傾向なのですが、外注先さんとの関係は良好でしょうか？これから更に人手不足が深刻化しそうですので、いい関係を築いていくことはとても大事ですよ。

## 第2回勉強会資料（2）

### 業績アップ事例研究

我々の会社、家庭、そして自分自身に置き換えて一緒に考えてみましょう！  
正解は一つではありませんので、自由な発想で楽しく柔らかくいきましょう！

#### 1、 齊藤一人さん

銀座まるかんの社長さんで納税額日本一に何度もなった実業家です。

主に健康食品を取り扱っておられます。

すごい業績をあげることができた秘密とは？

言葉について

税金について

#### 2、 建設会社のA社

義理堅くて、誠実で、包容力があり、頭も切れる。

周りにいい方がたくさん集まってくる。交際費も年間500万くらいになる。

20年前に個人事業スタート、10年前に法人化。10数年前からずっと業績が伸びている。

さて、この少ない情報であえて推測してみてください。

この会社の今現在の社員数は何人でしょうか？

3、 工務店のB社

義理堅い。面倒見がいい。明るくて包容力がある2代目社長さんです。  
とにかく人が集まります。  
社員もどんどん増えている。  
その会社の40歳くらいの社員が他の社員や取引先とケンカに近いトラブルを起こすそうです。会社の信用問題にもなりかねません。  
さて、その社員についての処遇をどうしたのでしょうか？

4、 八天堂（パン屋さん）の再建

三代目社長は老舗のパン屋さんをどうやって再建したのでしょうか？  
多種類を取り揃えて県内に10店舗展開した時期もありましたが、競合店やコンビニが増えてしだいに売上は減っていったそうです。  
店を縮小、製造卸に軸足を移したが2、3年でまた利益が出なくなったとのこと。  
さて、どうやって会社を再建したのでしょうか？

# 決算報告書

(第 6 期)

自 平成 25 年 4 月 1 日  
至 平成 26 年 3 月 31 日

株式会社 ホライゾン

## 貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 37,660,000】	【流動負債】	【 23,200,000】
現金及び預金	25,800,000	買掛金	7,000,000
受取手形	4,000,000	短期借入金	1,200,000
工事未収入金	3,700,000	未払費用	3,000,000
原材料	60,000	未成工事受入金	7,200,000
仕掛品	3,000,000	預り金	200,000
前払費用	100,000	法人税等充当金	3,000,000
短期貸付金	1,000,000	未払消費税等	1,600,000
【固定資産】	【 4,920,000】	【固定負債】	【 6,900,000】
(有形固定資産)	( 1,920,000)	長期借入金	3,300,000
建物	300,000	役員借入金	3,600,000
機械装置	100,000		
車輛運搬具	1,000,000	負債の部合計	30,100,000
工具器具備品	520,000	純資産の部	
(無形固定資産)	( 3,000,000)	【株主資本】	【 12,480,000】
保険積立金	3,000,000	(資本金)	( 3,000,000)
		資本金	3,000,000
		(利益剰余金)	( 9,480,000)
		繰越利益剰余金	9,480,000
		純資産の部合計	12,480,000
資産の部合計	42,580,000	負債及び純資産の部合計	42,580,000

## 損 益 計 算 書

科 目	金 額	
		円
【純 売 上 高】		
売 上 高	170,000,000	170,000,000
【売 上 原 価】		
当期製品製造原価	117,690,000	
合 計	( 117,690,000)	117,690,000
売 上 総 利 益		( 52,310,000)
【販売費及び一般管理費】		
広 告 宣 伝 費	150,000	
役 員 報 酬	20,000,000	
給 与 手 当	7,000,000	
厚 生 費	1,800,000	
減 価 償 却 費	700,000	
賃 借 料	200,000	
消 耗 品 費	800,000	
水 道 光 熱 費	200,000	
旅 費 交 通 費	600,000	
支 払 手 数 料	150,000	
租 税 公 課	2,000,000	
交 際 接 待 費	3,000,000	
保 険 料	2,400,000	
通 信 費	300,000	
諸 会 費	350,000	
車 輛 費	800,000	
地 代 家 賃	1,500,000	
雑 費	500,000	
営 業 利 益		42,450,000
【営業外収益】		( 9,860,000)
受 取 利 息	30,000	
雑 収 入	30,000	60,000
【営業外費用】		
支 払 利 息	110,000	
手 形 売 却 損	300,000	410,000
経 常 利 益		( 9,510,000)
税引前当期純利益		( 9,510,000)
法人税、住民税及び事業税		3,000,000
当 期 純 利 益		( 6,510,000)

## 製造原価報告書

自平成25年4月1日  
至平成26年3月31日

科 目	金 額	円
【材 料 費】		
期首原材料棚卸高	50,000	
原材料仕入高	68,000,000	
小 計	( 68,050,000)	
期末原材料棚卸高	60,000	67,990,000
【外注加工費】		
外注加工費	49,000,000	49,000,000
【製造経費】		
製造雑費	1,200,000	1,200,000
総製造費用		( 118,190,000)
期首仕掛品棚卸高		2,500,000
期末仕掛品棚卸高		3,000,000
当期製品製造原価		( 117,690,000)

### 比較貸借対照表

平成26年 3月現在 決算月3 単位：円

コード	科目	当期累計実績(A)		前期累計実績(B)		(A)-(B) 増減額	A/B 前期比
		金額	構成比	金額	構成比		
1101	現金	25,800,000	60.6	15,800,000	55.3	10,000,000	163.3
⑪ 9544	【現金及び預金】	25,800,000	60.6	15,800,000	55.3	10,000,000	163.3
1131	受取手形	4,000,000	9.4	1,000,000	3.5	3,000,000	400.0
⑭ 1141	工事未収入金	3,700,000	8.7	5,000,000	17.5	△1,300,000	74.0
1173	原材料	60,000	0.1	50,000	0.2	10,000	120.0
1174	仕掛品	3,000,000	7.0	2,500,000	8.8	500,000	120.0
1152	前払費用	100,000	0.2	100,000	0.4		100.0
1153	短期貸付金	1,000,000	2.3			1,000,000	
⑬ 9546	【流動資産】	37,660,000	88.4	24,450,000	85.6	13,210,000	154.0
1201	建物	300,000	0.7	500,000	1.8	△200,000	60.0
1203	機械装置	100,000	0.2	200,000	0.7	△100,000	50.0
1204	車両運搬具	1,000,000	2.3	1,300,000	4.6	△300,000	76.9
1205	工具器具備品	520,000	1.2	620,000	2.2	△100,000	83.9
9510	(有形固定資産)	1,920,000	4.5	2,620,000	9.2	△700,000	73.3
⑫ 1224	保険積立金	3,000,000	7.0	1,500,000	5.3	1,500,000	200.0
9511	(無形固定資産)	3,000,000	7.0	1,500,000	5.3	1,500,000	200.0
9547	【固定資産】	4,920,000	11.6	4,120,000	14.4	800,000	119.4
⑦ 9548	【資産の部】	42,580,000	100.0	28,570,000	100.0	14,010,000	149.0
⑭ 2103	買掛金	7,000,000	16.4	4,000,000	14.0	3,000,000	175.0
⑫ 2105	短期借入金	1,200,000	2.8	1,200,000	4.2		100.0
2107	未払費用	3,000,000	7.0	3,000,000	10.5		100.0
2108	未成工事受入金	7,200,000	16.9	1,200,000	4.2	6,000,000	600.0
2109	預り金	200,000	0.5	200,000	0.7		100.0
2111	法人税等充当金	3,000,000	7.0	1,200,000	4.2	1,800,000	250.0
2115	未払消費税等	1,600,000	3.8	1,300,000	4.6	300,000	123.1
⑬ 9549	【流動負債】	23,200,000	54.5	12,100,000	42.4	11,100,000	191.7
⑫ 2201	長期借入金	3,300,000	7.8	4,500,000	15.8	△1,200,000	73.3
2202	役員借入金	3,600,000	8.5	6,000,000	21.0	△2,400,000	60.0
9517	【固定負債】	6,900,000	16.2	10,500,000	36.8	△3,600,000	65.7
⑮ 9550	【負債の部】	30,100,000	70.7	22,600,000	79.1	7,500,000	133.2
3101	資本金	3,000,000	7.0	3,000,000	10.5		100.0
⑩ 9541	繰越利益剰余金	9,480,000	22.3	2,970,000	10.4	6,510,000	319.2
⑨ 9554	【純資産の部】	12,480,000	29.3	5,970,000	20.9	6,510,000	209.0
9555	【負債及び純資産の部】	42,580,000	100.0	28,570,000	100.0	14,010,000	149.0

⑦ 資産の部：4258万円と前年比1401万円増221%。そのうち現金が100%増。状況OK

⑮ 負債の部：3010万円と前年比250万円増20%。繰越利益剰余金600万円増21%は増減原因。工事未収入金完成前に2.2%を振りこいたために増21%です。

⑨ 純資産の部：1248万円と着実に財源形成が出来ています。

⑩ 繰越利益剰余金：3003万円と、右会社様、既入を948万円増やした。前年比増の数字が見限り。100%増は増の傾向です。

⑪ 現金及び預金：100%増。お金のキャッシュが21%減っています。49%増収が原因。

⑫ 借入金：金庫借入金を1203万円、借入金と2003万円返済したため、新たに借入金は存在せず。新規の借入は内題なく出た。借入金で支払った利息は少額。

⑬ 流動比率：162%。前年202%と前年比下がった。高い水準をキープしています。

⑭ 工事未収入金-買掛金：△330万円が支払の方が回収が同期間延長。それと買掛金(材料費+外注費)=12月=0.7%と14月弱の2%支払は増えています。

### 比較損益計算書

平成26年 3月現在 12ヶ月経過 12ヶ月分比較 決算月3 単位：円

コード	科目	当期月次実績(A)		前期月次実績(B)		(A)-(B) 増減額	A/B 前期比
		金額	構成比	金額	構成比		
① 4101	売上高	170,000,000	100.0	145,000,000	100.0	25,000,000	117.2
9523	【純売上高】	170,000,000	100.0	145,000,000	100.0	25,000,000	117.2
9557	【当期製品製造原価】	117,690,000	69.2	104,280,000	71.9	13,410,000	112.9
9558	【売上原価】	117,690,000	69.2	104,280,000	71.9	13,410,000	112.9
③ 9559	【売上総利益】	52,310,000	30.8	40,720,000	28.1	11,590,000	128.5
4404	広告宣伝費	150,000	0.1	50,000		100,000	300.0
⑧ 4411	役員報酬	20,000,000	11.8	18,000,000	12.4	2,000,000	111.1
⑨ 4412	給与手当	7,000,000	4.1	6,500,000	4.5	500,000	107.7
4418	厚生費	1,800,000	1.1	1,500,000	1.0	300,000	120.0
4419	減価償却費	700,000	0.4	800,000	0.6	△100,000	87.5
4420	貸借料	200,000	0.1	200,000	0.1		100.0
4423	消耗品費	800,000	0.5	500,000	0.3	300,000	160.0
4424	水道光熱費	200,000	0.1	180,000	0.1	20,000	111.1
4425	旅費交通費	600,000	0.4	300,000	0.2	300,000	200.0
4426	支払手数料	150,000	0.1	100,000	0.1	50,000	150.0
4427	租税公課	2,000,000	1.2	1,500,000	1.0	500,000	133.3
⑩ 4428	交際接待費	3,000,000	1.8	1,800,000	1.2	1,200,000	166.7
⑪ 4429	保険料	2,400,000	1.4	1,600,000	1.1	800,000	150.0
4430	通信費	300,000	0.2	300,000	0.2		100.0
4431	諸会費	350,000	0.2	350,000	0.2		100.0
4432	車両費	800,000	0.5	600,000	0.4	200,000	133.3
4434	地代家賃	1,500,000	0.9	1,500,000	1.0		100.0
4435	雑費	500,000	0.3	300,000	0.2	200,000	166.7
⑫ 9560	【販売費及び一般管理費】	42,450,000	25.0	36,080,000	24.9	6,370,000	117.7
⑤ 9561	【営業利益】	9,860,000	5.8	4,640,000	3.2	5,220,000	212.5
5101	受取利息	30,000		20,000		10,000	150.0
5105	雑収入	30,000		30,000			100.0
9535	【営業外収益】	60,000		50,000		10,000	120.0
5201	支払利息	110,000	0.1	120,000	0.1	△10,000	91.7
5202	手形売却損	300,000	0.2	400,000	0.3	△100,000	75.0
9536	【営業外費用】	410,000	0.2	520,000	0.4	△110,000	78.8
9562	【経常利益】	9,510,000	5.6	4,170,000	2.9	5,340,000	228.1
⑬ 9563	【税引前当期純利益】	9,510,000	5.6	4,170,000	2.9	5,340,000	228.1
6301	法人税、住民税及び事業税	3,000,000	1.8	1,200,000	0.8	1,800,000	250.0
⑭ 9564	【当期純利益】	6,510,000	3.8	2,970,000	2.0	3,540,000	219.2
9565	【期末繰越利益剰余金】	6,510,000	3.8	2,970,000	2.0	3,540,000	219.2

① 売上：2500万円、17%増。up(21%)。増収はOK！ → どの5%取組が良かったのか、お褒め下さい。

② 当期純利益：651万円、前年比219%。670万円、21%増。状況OK。

③ 売上総利益：30.8%と前年比2.7%アップ。→ 原価の管理もかなり改善されています。

④ 販管費：4245万円と637万円増21%増。率は前年並。→ 減価償却がかなり増えています。

⑤ 営業利益：986万円と前年比212%増。アップOK！

⑥ 税引前当期純利益：951万円と前年比219%。着実に伸びています。

⑬ 損益分岐点売上高 4200万円 ÷ 30.8% = 約1億4000万円 (3000万円下) 余裕あり！  
販管費+α

## 比較製造原価報告書

平成26年 3月現在 12ヶ月経過 12ヶ月分比較 決算月3 単位：円

コード	科目	当期月次実績(A)		前明月次実績(B)		(A)-(B)	A/B
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	前期比
4301	期首原材料棚卸高	50,000		130,000	0.1	△80,000	38.5
4302	原材料仕入高	68,000,000	57.8	53,000,000	50.8	15,000,000	128.3
4305	期末原材料棚卸高	60,000	0.1	50,000		10,000	120.0
⑬ 9526	【材料費】	67,990,000	57.8	53,080,000	50.9	14,910,000	128.1
4321	外注加工費	49,000,000	41.6	48,000,000	46.0	1,000,000	102.1
⑭ 9528	【外注加工費】	49,000,000	41.6	48,000,000	46.0	1,000,000	102.1
4335	製造雑費	1,200,000	1.0	1,200,000	1.2		100.0
9529	【製造経費】	1,200,000	1.0	1,200,000	1.2		100.0
4341	期首仕掛品棚卸高	2,500,000	2.1	4,500,000	4.3	△2,000,000	55.6
4342	期末仕掛品棚卸高	3,000,000	2.5	2,500,000	2.4	500,000	120.0
9557	【当期製品製造原価】	117,690,000	100.0	104,280,000	100.0	13,410,000	112.9

- ⑬ 材料費 <sup>材料費率</sup> 68000円/17000万円 = 40% 前月付 26.6% 2.8% 70% 21%  
原因は何か? 材料費の高騰?
- ⑭ 外注加工費 <sup>外注費率</sup> 49000円/17000万円 = 28% 前月付 33% 5% 減少している  
外注費は低くお支払い状況出ている。役員や社員の仕事を外注で増えている?
- ⑮ 役員報酬 前年比 200万円アップ。3人2'2000万円という人が一人だけ700万円アップ。  
役員報酬もみんな支給されているか? 277.13.
- ⑯ 給料手当 700万円。社員2人202'一人だけ) 350万円。前年比 500万円アップ  
一人だけ) 年間25万円 (月毎) 2万円アップ) → 就業前向成 増えているのか  
非課税になる。
- ⑰ 実際接待費 年間 200万円。前年比 180万円と120万円も増えている。  
浪費はしていないか。手配が良くなったか?
- ⑱ 保険料 240万円。前年比 200万円アップ。保険料の発生は? どのようになっているのか?
- ⑲ 保険積立金 300万円。前年比 150万円アップ。将来解約の時は戻ってくる貯蓄性が高い。保険にかかるといふ。退職金などに振り替えているのか?
- ⑳ 当期既利益 + 減価償却費 - 借入金元金返済額 → お金をどれだけ残せるのか? 100万円  
651万円 + 700万円 - 360万円 = 1061万円

業種別目標経営指標一覧表 出典:平成24年度 TKC経営指標

項目	算式	全産業		建設業		製造業		卸売業		小売業		宿泊飲食		サービス業		
		黒字企業	優良企業	黒字企業	優良企業	黒字企業	優良企業	黒字企業	優良企業	黒字企業	優良企業	黒字企業	優良企業	黒字企業	優良企業	
① 総資産営業利益率(ROA)	営業利益÷平均総資産	3.7%	10.8%	3.4%	11.1%	4.1%	10.7%	3.4%	10.8%	3.5%	10.7%	3.0%	10.7%	4.3%	10.1%	
総資産経常利益率	経常利益÷平均総資産	4.2%	12.0%	3.9%	12.1%	4.5%	11.8%	3.7%	11.6%	4.4%	12.2%	3.5%	13.1%	5.2%	11.7%	
自己資本利益率(税引前)	当期純利益÷平均自己資本	10.7%	17.8%	9.5%	18.4%	10.3%	17.0%	9.8%	17.7%	12.1%	19.3%	13.0%	23.8%	11.7%	16.6%	
攻撃力	売上高営業利益率	営業利益÷売上高	3.0%	7.6%	2.6%	7.2%	4.0%	10.0%	2.0%	5.5%	1.8%	4.9%	2.7%	6.8%	3.3%	7.4%
	売上総利益率	売上総利益÷売上高	28.1%	33.3%	18.8%	22.9%	21.0%	26.4%	18.8%	24.5%	30.0%	33.6%	65.3%	69.3%	43.5%	51.6%
	売上高経常利益率	経常利益÷売上高	3.4%	8.4%	3.0%	7.8%	4.4%	11.0%	2.1%	5.9%	2.3%	5.6%	3.1%	8.4%	4.0%	8.6%
	売上高販売管理费率	販売管理費÷売上高	25.1%	25.7%	16.2%	15.7%	17.0%	16.5%	16.9%	19.0%	28.2%	28.7%	62.7%	62.5%	40.2%	44.2%
	経営安全率	(売上高-損益分岐点売上高)÷売上高	8.3%	18.1%	7.9%	18.5%	9.6%	21.7%	10.8%	23.0%	7.5%	16.4%	4.6%	11.8%	6.2%	12.3%
	付加価値創出力	一人当たり付加価値	付加価値÷平均社員数	619千円	834千円	679千円	845千円	667千円	873千円	763千円	1,028千円	539千円	738千円	384千円	534千円	409千円
	付加価値率	付加価値÷売上高	41.0%	46.5%	37.7%	42.1%	46.0%	50.5%	19.9%	25.9%	30.7%	34.3%	67.9%	71.0%	63.4%	69.6%
	一人当たり人件費	人件費÷平均社員数	327千円	420千円	389千円	451千円	355千円	416千円	380千円	448千円	278千円	374千円	194千円	268千円	258千円	426千円
	人材生産性	付加価値÷人件費	1.9倍	2.0倍	1.7倍	1.9倍	1.9倍	2.1倍	2.0倍	2.3倍	1.9倍	2.0倍	2.0倍	2.0倍	1.6倍	1.7倍
	労働分配率	人件費÷付加価値	52.9%	50.4%	57.2%	53.3%	53.4%	47.6%	50.0%	43.5%	51.7%	50.7%	50.8%	50.2%	63.4%	58.4%
資金運動力	総資産回転率	売上高÷平均総資産	1.2回	1.4回	1.3回	1.5回	1.0回	1.1回	1.7回	2.0回	1.9回	2.2回	1.1回	1.6回	1.3回	1.4回
	総資産回転期間	平均総資産÷売上高×365	297.1日	256.2日	279.3日	235.6日	361.1日	339.3日	211.1日	186.7日	188.9日	167.2日	324.6日	232.7日	279日	267.5日
	売上債権回転期間	平均売上債権÷売上高×365	49.3日	46日	51.1日	43日	71.6日	69.9日	59.2日	48日	24.9日	26.5日	8.3日	7.7日	42.7日	41.6日
	在庫回転期間	平均在庫÷売上高×365	26.2日	18.2日	40.1日	21.0日	34.5日	26.5日	22.3日	18.5日	25.7日	19.5日	4.1日	3.8日	6.9日	5.3日
	仕入債務回転期間(支払基準)	平均仕入債務÷仕入代金支払高×365	55.4日	46.1日	61.6日	49.4日	74.2日	67.8日	59.3日	39.1日	38.1日	38.9日	33.5日	28.7日	40.9日	40.5日
	運転資金必要日数	平均運転資金÷売上高×365	42.8日	39.4日	53.0日	35.4日	66.1日	62.7日	34.2日	37.4日	24.1日	20.2日	1.6日	3.1日	34.7日	34.7日
守備力	自己資本比率	自己資本÷総資本	37.8%	62.6%	39.4%	59.8%	40.8%	64.4%	35.7%	60.2%	36.2%	60.6%	27.7%	57.4%	45.0%	67.6%
	② 流動比率	流動資産÷流動負債	173.4%	289.8%	175.1%	248.3%	184.8%	295.9%	160.2%	271.4%	161.8%	261.2%	124.5%	260.8%	217.8%	349.3%
	当座比率	当座資産÷流動負債	130.2%	240.7%	122.7%	202.6%	142.0%	246.2%	125.5%	221.8%	106.3%	198.9%	100.3%	221.2%	185.3%	315.7%
	固定比率	固定資産÷自己資本	127.8%	55.9%	90.1%	45.5%	111.4%	55.3%	99.4%	45.8%	132.4%	54.3%	278.2%	95.4%	109.3%	54.5%
	固定長期適合率	固定資産÷(固定負債+自己資本)	68.9%	45.1%	56.2%	38.5%	64.5%	45.5%	59.5%	37.6%	70.7%	44.3%	94.5%	66.3%	64.2%	45.0%
	デット・エクイティ・レシオ	有利子負債÷自己資本	1.0倍	0.2倍	0.7倍	0.2倍	0.9倍	0.2倍	0.9倍	0.2倍	1.0倍	0.2倍	1.9倍	0.4倍	0.7倍	0.2倍
	債務償還年数	有利子負債÷(当期純利益+減価償却費)	5.6年	1.0年	5.5年	0.8年	4.9年	1.0年	6.6年	1.1年	6.2年	0.9年	7.4年	1.5年	4.3年	1.0年
	③ 借入金対月商倍率	借入金÷(純売上高÷12)	3.6月	1.2月	2.8月	0.8月	4.4月	1.7月	2.3月	0.9月	2.3月	0.7月	5.7月	1.7月	3.0月	1.1月
ギアリング比率	有利子負債÷自己資本	95.0%	22.7%	74.5%	17.4%	86.8%	22.1%	89.4%	22.8%	100.5%	20.2%	191.4%	39.6%	71.7%	19.0%	
必要運転資金	売上債権+たな卸資産-買入債務	36,535千円	44,709千円	37,692千円	33,596千円	84,075千円	104,058千円	58,939千円	75,718千円	22,366千円	25,768千円	835千円	2,239千円	18,416千円	22,275千円	

①  $9,860,000円 ÷ 42,580,000 = 23.1\%$  といい!!

②  $37,660,000円 ÷ 23,200,000円 = 162.3\%$  すごい!!

③  $(6,900,000円 + 1,200,000円) ÷ (170,000,000 ÷ 12) = 0.57月$  といい!!